

## 山口県介護支援専門員協会 各地域代表者会議 概要

開催日 平成25年2月23日（土） 午後1時から3時まで

会場 山口県セミナーパーク 2階 201号室

参加者

- ・ 県協会代表：橘副会長、木村副会長  
堀田理事（広報事業部、山陽小野田市会長）  
松井理事（公益事業部） 田村理事（調査研究部） 岩神理事（生涯研修部）
- ・ 地域代表：末廣美子（岩国市会長）、渡辺宗男（岩国市顧問）  
鈴木千代子（柳井広域会長） 河本好英（周防大島理事）  
古谷俊昭（周南市会長）、服部恭弥（周南市副会長）  
廣石順丈（下松市会長）、鬼木泰子（光市会長）  
中川信司（防府市会長）、高井佳代子（山口市）  
藤井ありさ（宇部市副会長）、山本史彦（下関市）  
西岡健治（長門地域）、吉田和敬（萩広域会長）
- ・ 事務局：山口県社協 福祉人材研修センター  
副部長 中屋文男、職員 福本かおる

協議事項

### 1 平成25年度地域支部・県・日本介護支援専門員協会の入会について

入会状況について、山口県の会員数は全国4位で代議委員数3名を維持している。

会長の候補者選挙、日本協会の議決権を持っているので数の多い協会については意見力がある。6月に会長候補者、常任理事の選挙があるので代議員選定の締日が3月31日になっており、会員数が1500名になると代議員4名を出すことが出来るので年度末まで会員増強に向けてご活動いただくことを日本協会からも伺っている。

### 2 事務局委託について

県協会は会費収入に依存している部分が多く、緊縮財政により会費の千円値上げを代議員総会でも説明している。業務内容を精査し、事務局を検討するとのことで2月10日より県のホームページで委託募集をしている。

事業内容、事務局業務などを列記し、現在の事務局委託費より安価な金額を設定し、会員の負担を減らす設定をしているが現状では申し込みがない状況である。

圏域の職能団体、事業所等でも個別に相談を受けていく。

業務委託者の決定で3月末以降に決定しない場合については次の期間で募集をかけ、年度で契約をしたいので内容を吟味していく。代議員総会でも会費収入に見合った事務局委託との意見があったので今後も検討していく。

### 3 情報一斉送信方法のための協力について

入会申込書、会員追加・変更申込書を更新している。

県協会ではこれまでキャスト GX でメール配信機能を行っていたが、サーバーの故障により登録している会員データが消えるという不具合が起こっておりメール配信ができていない状況にある。

違う方法として一括してメール送信ができるよう、現在登録している人も含めて全会員のアドレスを把握することで、双方向のコミュニケーションがとれるよう会員のメリットとして付け加えていく。名簿管理と共に次年度より集約してもらおう。

地域、県、日本の会員名簿提出から会費請求までの流れについて、会員名簿及び会員数を4月26日目途に一度確定し、県へ提出してもらおう。周南市は26日が総会なので5月連休明けに確定。次年度会費の値上げもあり、早い時期での会員確定のため、取りまとめの協力をいただく。

#### ○各地域の事務局の状況について

岩 国 市…事務局は美和苑施設の中にありメール、FAX でやり取りをしている。昨日25年度入会申込、振込用紙の発送業務を行い、手弁当で役員が手伝っている。渡辺顧問が毎日私書箱に郵送物を取りにいき、名簿の整理を行っている。名簿の更新はヤフーのメーリングリストに流し役員が確認する。私書箱は無料で、使用しているところは少ない。会費の振込手数料は会で持っているのでATMを使用する等協力いただき、会員に負担をかけないようにする。

柳 井 広 域…役員が地区で活動し、会費の集計は地域毎に担当している。総会で領収を渡す。研修申込みはFAX で地区担当毎に集約する。事務局はサンキ事業所が担当している。

周 防 大 島…会員35名なので会費は総会で集め、領収を渡す。事務局作業は会長が行う。

下 松 市…事務局が地域包括支援センター内にあり、会員名簿、案内関係の事務作業を行う。文書関係、準備物は役員で分担している。介護支援専門員連絡会の行政の協議、伝達事項を行う会議と、介護支援専門員協会の研修会等を併せて事務局で支援をしていただいている。

光 市…前会長の病院の総務部が事務局を担当している。病院の窓口が問合せ窓口になっている。実費のところのみお支払し、労力についてはお願いしている。

萩 市…事務局をかがやきにお願いしている。会員数が多く、バックアップしていただけるので文書の発送等お願いしている。研修案内、内容等は役員で作成している。委託費はない。

長 門 市…前会長の長門総合病院に事務局があり、案内等は会員へメールで対応。会員の方へ役員が会費の徴収。委託費はない。

下 関 市…事務局会長の事業所で会費、会員の管理をしている。書類の発送、事務手続きは二井前会長の事業所で行う。発送準備等は役員で協力しており、委託費はなく手弁当で行っている。

宇 部 市…事務局については2年に1度変更しているが毎年手が上がり一本刷りをお願いしている。会費の徴収から研修案内まで事務局で一括して作業を行い委託費はない。研修部会等日々の業務に追われつつの作業になっており協力できる役員が集まって作業をしている。事務局が宇部市の協議会では大変になってい

る。

山 口 市…事務局は済生会にお願いし協力をいただいている。大がかりな発送については役員会の際に協力している。研修が年に3回あるのでその前に役員会を行って作業を行っている。

防 府 市…会計管理、名簿管理、資料発送等コミュニティケア防府の事務局で行っている。市役所にケアマネ事業所のメールの棚があるので郵送物は入れている。その他は郵送、FAXで対応している。委託費は3万円。

周 南 市…事務局長というポストを役員の中で作っている。現在は徳山医師会に事務局を置いている。研修の案内の発送が大変なので、地区ごとに役員を決めて近隣の事業所より配布してもらう。個人の会員、遠方の事業所等はメール便等で対応している。連絡について理事同士はメールでやり取りし、理事会、研修等で集まった際に発送作業等協力をお願いし、交通費一律500円を支払っている。会費の徴収でお金が合わない等確認作業があるので会費を振込にする形を考えている。

山陽小野田市…委託金はなく、事務局は毎年変わっている。郵送物は理事が直接配っており遠方へは郵送をしている。

昨年度より日本協会から名簿の管理、登録について手数料が支払われている。今年度は支部交付金として支部活動を盛んにすることを目的に会員1人あたり300円の支払いがあるので次年度の活動費、事務局の負担を軽減するために活用いただきたい。

#### 4 地域支部研修相互乗り入れ

県協会のホームページで研修案内の活用をしていただく。各地域の研修の開催要項を掲載できダウンロードができる仕組みになっている。参加者が少ない等相互の研修乗り入れができるのであればホームページを活用して周知いただきたい。アップしたい情報があれば事務局へご連絡いただく。

#### 5 地域支部調査についてご協力をお願い

日本協会より地域支部による協議が求められるものについて、直接情報を伝達するために、地域支部情報の把握について依頼があったことについてご意見をいただく。

渡辺顧問…支部の情報を知りたいとのことなので情報を伝えてもよいのではないかと。

鬼木氏…光市は単独で動くことができないので県を通して情報をいただきたい。

下松市…毎年調査がきて、更新されるのか。事務局は持回りになるので更新時期がはっきりしていれば列記しても良いが、県を通しての方が現実的ではないかと。

双方向のやり取りになるかは難しいが、日本協会より直接情報が来ることについて問題がなければ現在の地域支部の情報を掲載することについて岩国、萩、宇部、周南、山陽小野田は情報提供可能。事務局が変更になった場合は、県協会より責任を持ち日本協会へ連絡をする。その他の地域は3月1日までに事務局へ連絡をいただく。

## 報告事項

### 1 今年度事業概要報告について

今年度県協会の事業概要について説明。別紙参照

#### 各部の活動報告について

広報事業部…広報誌の発行、ホームページ管理をしており、キャスト GX について費用対効果が見られず理事会で話合いの結果現在廃止している。ホームページへカレンダー、資料室、ケアマネタイム、社会資源等の機能を移行し充実させていく。次年度メーリングリストについても問題を精査し、復活できるように取り組んでいく。

広報誌第 2 号は 3 月発行し 4 月に会員へ発送する予定。

公益事業部…県協会からのお願いアンケートを実施し意見を各カテゴリーに分類し、意見の集約をしている。要望に対し解決策を出していく取組みを検討している。まず配食サービス申請作業の負担について意見があり、それについてアンケートを実施し、会員の声に答えていけるよう検討、解決策を考えていく。

社会資源情報について各市町のケアマネジャーが実際に活用できるページにリンクを貼っていく。ホームページのお役立ちコーナーに情報を掲載している。

災害対策について日本協会より災害対処の手段を構築するために、机上訓練に参加した。地域支部へ伝達を目的に山口県において起こりうる洪水、土砂災害にし、日本協会の資料をアレンジし 3 月 11 日に理事に対してデモンストレーションの机上訓練を行う。結果を見てツールの検証をし、次年度県内 2 か所で実施できるよう協力してもらおう。

生涯研修部…今年度 9 コース 28 日間の研修を実施。県協会の研修に対しての内容、思いについてアンケートを行った。地域での研修回数は 2 回から 24 回と差がある状況であるが、県協会の研修に対しての内容、開催頻度については概ね好意的な意見をいただいている。人材育成、スキルアップ研修、広島県のようにマイスター制度の作成等の研修を企画して欲しいとの意見があり次年度の計画に活かしていく。近いうちに次年度の研修計画をご連絡する。

調査研究部…今年度介護支援専門員の組織力強化について、組織に対し地域、県の会員が何を求めているかの調査を開始した。地域協会と会員の関係、会員数の減少増加の流れを見て調査をしていく。次年度全国で見ても山口県は施設が多いので、公益、生涯からのアンケートをもとにケアマネジャーの現状、実態を調査していく。

総務組織部…次年度ケアマネジメント研究大会の開催にあたり実行委員の選出について検討していく。研究発表について地域へ声かけをさせていただくので準備をお願いしたい。会員に対して楽しみのある遊び心企画として地域でのお祭りに参加し広報活動を行っていく。

藤本事務局長より予算執行状況について説明。

## 2 日本協会をめぐる状況について説明。別紙参照

### 3 広島県介護支援専門員協会との連携について

#### ○橘氏より中国ブロック会議の報告

日本協会理事会、常任理事会で日本協会木村会長が参議院選挙へ出馬をされるとの報告があった。11月11日に行われた支部長会議で自由民主党から推薦をいただき、参議院選挙へ出馬公認推薦依頼文を提出。12月6日に開催された理事会で日本協会からの推薦依頼の提出について協議をされるとのことで中国ブロック会議を行った結果、会員に立候補の説明がないまま日本協会より推薦をすることについてどうなのかという意見が出たため、地域協会、ブロックへ持ち帰り審議することになった。1月下旬に木村会長より日本介護支援専門員連盟の組織内候補より立候補するとの連絡があり、理事会で日本協会からの推薦依頼はいただかないことで落ち着いた現状になっている。

服部氏…職能団体の全国代表が参議院に出る場合辞職してから出馬すべきではないか。会長のままで出馬すると会が推薦したと思われる。立候補宣言をしたことについて、今後会長の活動は選挙活動と考えられる。三層構造では会員の政治的思想の自由を奪われるので、県は任意加入を認めるべきではないか。県が任意加入を取れないのであれば地域の任意加入を認めるべきであるので検討、結論を出していただきたい。

中国ブロック内の研修相互乗入れについて、広島県の研修会には当会東部の方の参加が多く、協議の結果、三層構造を取っている広島、島根、山口県については日本協会会員価格で相互の研修に参加が可能になった。中国三県の連携強化も図っていく。

相互の研修会の案内について、会員へ発送する場合郵送代がかかるため、費用をかけない方法で周知することを両県で決定している。当会ではホームページに他県の研修案内を随時掲載していく。

### 4 平成25年度山口県介護支援専門員協会年会費について

年会費について千円上げることについては重たい審議であったが、理事の方へ交通費を削減していただき、遠方の方に負担をかけているので、負担がかからないよう従来に戻していきたい。会費の値上げについて文書を各支部の代表者へ発送させていただいている。会員宛てについては地域協会より配布していただく。